

日本ロシア文学会会報 第48号 2019年2月

1. 会長挨拶 2. 2018年度第68回総会報告 3. 10月・12月理事会関連事項 4. 会員異動 5. 新役員・委員 6. その他 7. 事務局からのアナウンス

1. 会長挨拶

「平成最後」という言葉があちらこちらで聞かれた2019年の年初め、会員の皆様はいかがお過ごしになられたでしょうか。昨年は豪雨や台風、地震など日本各地で災害の多い一年でした。今年は、平穏な中で私たちが教育や研究に従事できる年であることを祈らずにはられません。

2018年から動き出した執行部・理事会も2年目を迎え、事務局2名体制を導入するなど、新たな取り組みに着手しました。また、近年の本学会は国際化を一つの目標としてきましたが、昨年の定例全国大会でのカザン連邦大学と本学会の合同パネルの実現は、この方向にむけた確実な前進だったといえるでしょう。本年6月には、JCREESの主催により、第10回スラブ・ユーラシア研究東アジア大会が東京大学本郷キャンパスを会場として開催される運びとなっています。大会に関する情報はJCREESホームページから取得できますので、JCREES加盟団体である本学会の会員各位におかれましても、ふるってご参加ください。

大学をとりまく環境やロシア語教育の状況など、周囲は年々変わりますが、本学会はこれまでどおり、ロシア語・ロシア文学研究者の交流の場としての活動を続けてまいります。そしてこうした学会の活動はすべて、皆様に納めていただく会費によって支えられています。ここ数年、学会収入の減少が目立つようになっていることから、会費未納入の方には事務局より会費納入のお願いが届くことと存じます。該当の会員におかれましては、学会活動の趣旨をご理解のうえ、未納分の会費を速やかにお支払いくださるよう、お願いいたします。また、主として若手支援などの目的で使用される維持会費へのご支援も、ご高配いただければ幸いです。

日本ロシア文学会長 三谷恵子

2. 2018年度第68回総会報告

第68回定例総会・研究発表会は、2018年10月27日（土）、28日（日）の両日、名古屋外国語大学で開催されました。10月27日（土）午後に開催された定例総会の内容は以下の通りです。

(1) 開会の辞 会長：三谷恵子（敬称略、以下同様）

三谷会長が開会の辞を述べた。

(2) 学会賞表彰 【論文部門】生熊源一

井上幸義学会賞選考委員長が選考結果の報告を行い、三谷会長から生熊源一氏に表彰状と副賞が手渡された。

(3) 議長団選出 【候補】岩本和久（北海道）・梶山祐治（関東）・松下隆志（関西）

該当支部からの推薦に基づき、三名の議長候補が示され、全会一致で承認された。

(4) 事務局報告

・会員異動（2017年11月～2018年10月）

ご逝去 小檜山愛子（関西）、久野公（関東） 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

入会者 石井優貴（関東）、石丸敦子（関東）、占部歩（関西）、小川佐和子（関西）、山本明尚（関東）、水声社

退会者 大矢温（北海道）、ステラ・シヴァコーワ（関東）、ウラジーミル・ジダーノフ（北海道）、松本賢一（関西）、柳沢民雄（中部）

(5) 各種委員会報告

○学会賞選考委員会 [委員長：井上幸義]

○学会誌編集委員会 [委員長：大平陽一]

○国際交流委員会 [委員長：楯岡求美]

○広報委員会 [委員長：古賀義顕]

○ロシア語教育委員会 [委員長：熊野谷葉子]

○日本ロシア文学会大賞選考委員会 [委員長：諫早勇一]

○大会組織委員会 [委員長：貝澤哉]

○大会実行委員会 [委員長：諫早勇一]

(6) 他の学会活動報告

- ・ロシア文学大事典（仮）編纂ワーキンググループについて [WG 座長：中村唯史]
- ・若手ワークショップ企画の応募結果と採択結果について [会長：三谷恵子]
- ・2019 年スラブ・ユーラシア研究東アジア大会の開催について [会長：三谷恵子]
- ・被災した会員への会費免除について [会長：三谷恵子]
- ・バックナンバーの頒布について [事務局長：野中進]

(7) 2017/2018 年度決算および会計監査報告

事務局より前年度決算報告が行われ、木村崇監事より会計監査報告が行われた。承認された。

(8) 2018/2019 年度予算案 [事務局長：野中進]

新年度の予算案が示され、全会一致で承認された。

(9) 学会誌について [委員長：大平陽一]

- ・学会誌のウェブ上での公開について
 - ・抜刷の実費負担について（「会誌原稿執筆要項」改正）
- 大平編集委員長から上記について提案が行われ、全会一致で承認された。

(10) 倫理委員会について

- ・倫理委員長を理事会メンバーに入れる規定改正（案）
 - ・「倫理委員会に関する内規」（案）
- 中村副会長から上記について提案が行われ、全会一致で承認された。

(11) 学会の共催・協力・後援について（案）

中村副会長から提案が行われ、全会一致で承認された。

(12) 学会賞・旅費補助関連の規約改正（案）

学会賞の賞金と旅費補助に関する改正案が野中事務局長から示され、全会一致で承認された。

(13) 「会費減免に関する申し合わせ」改正（案）

会費減免を認められる JCREES 所属の学会の表記についての改正案が野中事務局長から示され、全会一致で承認された。

(14) 事務局体制について

事務局を分割することについて野中事務局長から提案が行われ、全会一致で承認された。

(15) 名簿作成延期について

会員名簿作成を4年に一度行うこととし、かつ次回の名簿作成を2019年に行うことについて野中事務局長から提案が行われ、全会一致で承認された。

(16) 2019 年度大会について

2019年の全国大会会場として、三谷会長より早稲田大学が提案され、全会一致で承認された。

(17) その他

会員から電子出版の事例について紹介があった。

(18) 議長団解任・閉会の辞

議員団が解任され、中村唯史副会長が閉会の辞を述べ、閉会となった。

3. 10・12月理事会関連事項

10月理事会は10月27日（土）に名古屋外国語大学にて、12月理事会は12月16日（日）に東京大学本郷キャンパスで開催されました。主な報告事項および審議事項は以下の通りです。

10月理事会（前節の総会報告を参照）

12月理事会

■報告事項

(1) 事務局報告〔庶務会計：野中進〕

- ・前回理事会議事録の確認
- ・2018年度総会議事録の確認
- ・会員の異動

退会者 大学書林（賛助会員）

(2) 役員・理事・各種委員

・三谷恵子会長より、川端香男里顧問から辞退の申し出があり、了承されたことが報告された。これにともない顧問が二名となるが、補充はしないことが確認された。

(3) 各種委員会報告

○学会賞選考委員会〔委員長：井上幸義〕

- ・第68回大会における学会賞授賞式について報告された。
- ・2019年度学会賞候補推薦依頼（学会HP掲載）が行われたことが報告された。

○編集委員会〔委員長：大平陽一〕

- ・「学協会著作権ポリシーデータベース」への登録が完了したことが報告された。
- ・J-Stageでの会誌掲載論文の公開について、年度内のアップロードを目指す進捗状況であることが報告された。
- ・学会誌投稿エントリーが例年に比べ少なく、顔触れが固定化しつつある状況であることが報告された。

○国際交流委員会〔委員長：楯岡求美（報告：坂庭淳史）〕

- ・来年度の国際助成申請募集について報告された。
- ・カザン大学との合同企画の成果について報告された。
- ・2018年度全国大会における「国際参加枠」について報告された。
- ・研究大会での国際ワークショップの企画について報告され、組織委員会と相談しながら進めて行くことが確認された。
- ・海外で開かれる国際会議・シンポジウム・セミナー等の情報のHP掲載を継続することが報告された。
- ・会員の欧文論文のデータをHPなどにまとめることについて今後の課題とすることが報告された。

○広報委員会〔委員長：古賀義顕〕

- ・広報委員会で事務局との連携委員を設けることが承認され、本田晃子委員が選出されたことが報告された。
- ・前回以降のHP掲載を中心とした委員会活動が報告された。

○ロシア語教育委員会〔委員長：熊野谷葉子〕

- ・2018年10月30日のタチャナ・ボーチナ教授（カザン大学）公開授業を委員会として共催したことが報告された。
- ・2018年12月2日開催の「ロシア語教育研究集会2018」をロシア文学会として共催したことが報告された。

○倫理委員会〔委員長：齋藤陽一（報告：執行部〔副会長〕中村唯史）〕

- ・倫理委員会に関する内規が総会・理事会で承認され、HPに掲載されたことが報告された。

○日本ロシア文学会大賞選考委員会〔委員長：諫早勇一〕

・第5回日本ロシア文学会大賞受賞記念講演が行われ、受賞者の澤田和彦埼玉大学名誉教授に賞状と記念品が授与されたこと及び受賞講演が学会HPに掲載されたことが報告された。

・第6回日本ロシア文学会大賞推薦募集が始まったこと、推薦申込方法がメールに一本化されたことが報告された。

(4) その他

・三谷恵子会長から、2020年度大会の開催校として大阪大学の内諾を得ていることが報告された。

■審議事項

(1) 2018年度第68回大会、大会組織委員会の総括が貝澤哉委員長から行われ、これが承認された。

(2) 2018年度第68回大会、大会実行委員会の総括／会計報告が諫早勇一委員長から行われ、これが承認された。

(3) 事務局分担について野中進事務局長から提案があり、これが承認された。

(4) 寄附金制度について三谷恵子会長から提案があり、まず昨今の学会収入減の原因を究明するためのワーキンググループを立ち上げ、審査の結果必要と認められた場合に寄附金制度を開始することが承認された。ワーキンググループは諫早勇一座長、中村唯史、坂庭淳史、鳥山祐介、野中進によって構成されることが承認された。

(5) 日本ロシア文学会大賞の見直しについて三谷恵子会長から提案があり、次回の大賞選考委員会で今後の方向性について検討すること、また執行部・事務局で継続的に会員の意見を集めて行くことが承認された。

(6) 2018年度大会カザン大学報告者の学会誌投稿希望締め切り延長について楯岡求美国際交流委員長から提案があり、これが承認された。

(7) 若手ワークショップについて三谷恵子会長から提案があり、第1回開催の結果を今後の検討材料とするため、今年度の募集は行わないことが承認された。

(8) 2019年度第69回大会について以下の委員会の委員が承認された。

・2019年度大会組織委員会 [委員長：中村唯史]

・2019年度大会実行委員会 [委員長：坂庭淳史]

(9) その他

・三谷恵子会長から、賛助会員の確保を目的として学科HPに賛助会員のリンクを貼ることが提案され、古賀義頭広報委員長の同意を得て、これが承認された。

・古賀義頭広報委員長から、セキュリティ強化のため実行委員会共通メールアドレスを現在の exe_conf@yaar.jpn.org から変更することが提案され、これが承認された。

4. 会員異動（敬称略：2018年1-12月）

ご逝去 小檜山愛子（関西）、久野公（関東） 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

入会者〔氏名（支部：専攻分野／推薦者）〕 石丸敦子（関東：ロシア文学研究／前田和泉・沼野恭子）、占部歩（関西：現代ロシア文学／ヨコタ村上孝之・中村唯史）、水声社

退会者 大矢温（北海道）、ステラ・シヴァコーワ（関東）、ウラジーミル・ジダーノフ（北海道）、大学書林

5. 新役員・委員（敬称略）

会長	三谷恵子（2017年度全国大会～2021年度全国大会）
副会長	貝澤哉、中村唯史（2017年度全国大会～2019年度全国大会）
事務局	野中進（2018年度全国大会～2020年度全国大会） 安達大輔（2018年度全国大会～2022年度全国大会）

理事（2017年度全国大会～2019年度全国大会）

北海道支部	寺田吉孝（支部長）、越野剛 [事務局長：大西郁夫]
-------	---------------------------

東北支部	長谷川章（支部長）[事務局長：川辺博]
関東支部	秋山真一、伊東一郎（支部長）、大石雅彦、熊野谷葉子、坂庭淳史、佐藤千登勢、楯岡求美、堤正典、沼野恭子、乗松亨平（事務局長）、番場俊、前田和泉、三浦清美、八木君人
中部支部	杉本一直（支部長・事務局長）、中澤敦夫
関西支部	中村唯史（支部長）、大平陽一、藤原潤子、ヨコタ村上孝之 [事務局長：服部文昭]
西日本支部	西野常夫（支部長・事務局長）
顧問	佐藤純一、米川哲夫
監事	木村崇、鳥山祐介
JCREES 幹事	三谷恵子

各種委員会（2017年度全国大会～2019年度全国大会）

編集委員会	大平陽一（委員長）、朝妻恵理子、北見諭、鴻野わか菜、佐々木精治、佐藤正則、下里俊行、高橋健一郎、田中大、堀口大樹、平松潤奈、丸山由紀子
学会賞選考委員会	井上幸義（委員長）、郡伸哉、沼野恭子、柳町裕子、ヨコタ村上孝之
国際交流委員会	楯岡求美（委員長）、坂庭淳史、ヴァレーリイ・グレチコ、中野幸男、前田和泉
広報委員会	古賀義頭（委員長）、梅津紀雄、寒河江光徳、中村唯史、本田晃子、八木君人
ロシア語教育委員会	熊野谷葉子（委員長）、秋山真一、金子百合子、寺田吉孝、宮崎衣澄
倫理委員会	齋藤陽一（委員長）、黒岩幸子、佐藤千登勢、西中村浩、イリーナ・メーリニコワ
大賞選考委員会	諫早勇一（委員長）、井上幸義、大平陽一、貝澤哉、熊野谷葉子、古賀義頭、楯岡求美、中村唯史、三谷恵子
2019年度大会組織委員会	中村唯史（委員長）、諫早勇一、恩田義徳、坂庭淳史、楯岡求美
2019年度大会実行委員会	坂庭淳史（委員長）、安達大輔、貝澤哉、鴻野わか菜、楯岡求美、八木君人

6. その他

○日本ロシア文学会大賞受賞記念講演 第5回日本ロシア文学会大賞に澤田和彦氏が選出され、2018年10月27日、名古屋外国語大学にて日本ロシア文学会大賞記念講演「アカデミー版『ゴンチャロフ全集』編集入門譚」が行われました。この受賞記念講演は学会ホームページに掲載され、『ロシア語ロシア文学研究』第51号に掲載予定です。学会ホームページには澤田氏の授賞理由、受賞のことばも掲載されています。

7. 事務局からのアナウンス

○昨年 12 月の理事会にて、事務局を「書記」（主に総会・理事会・大会、会報を担当）・「庶務会計」（主に名簿、経理関連を担当）の二役で分担する業務分割案が承認されました。新しい事務局をどうぞよろしくお願ひいたします。

○学会はみなさまの会費によって支えられています。2018/2019 年度分（およびそれ以前）の学会費を納入されていない方は、納入くださいますようお願い申し上げます。なお、振込用紙がお手元がない場合、郵便局に備え付けの振替用紙をお使いください（加入者：日本ロシア文学会、口座番号：00100-7-6507）。

会費督促についてのお知らせとお願ひ

事務局（庶務会計）からのお知らせとお願ひです。本年 1 月末より会費の督促を行っています。会費滞納のある方は、至急、お支払いくださいますようお願いいたします。なお、2018/2019 年度にすでにご送金いただいても、それ以前に滞納がある場合、ご送金分は以前の滞納に充てられますので、「2018/2019 年度分、滞納」のかたちで督促が行きます。ご了承ください。

すべての学会活動は皆様のお納めいただく会費によって成り立っておりますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

○2019 年度の大会は 10 月 26 日（土）、27 日（日）に早稲田大学で開催されます。

○学会ホームページでは、学会内外で行われるロシア語・ロシア文化全般に関する催しについての案内を積極的に掲載しておりますので、適時閲覧して頂ければ幸いです（<http://yaar.jpn.org/>）。

○現在、事務局から会員への連絡は、一部を除き一斉メールで行っております。まだ連絡用のメールアドレスを事務局にお届け頂いていない会員におかれましては、ご自身のメールアドレスと氏名を事務局にご送信下さい（yaar@yaar.jpn.org）。また、お知合いの会員でメールによる学会連絡のない方がいらっしゃいましたら、事務局あてにご一報くださるよう、お勧めください。

○『ロシア語ロシア文学研究』50 号（2018 年）がお手元に届いていない会員の方は、現在のご住所（郵送先）を事務局にお知らせください。また、お知合いの会員でそのような方がいらっしゃいましたら、事務局あてにご一報くださるよう、お勧めください。

日本ロシア文学会会報 第 48 号（2019 年 2 月 15 日発行）

発行人 三谷恵子 編集人 日本ロシア文学会事務局

〔書記〕〒060-0809 札幌市北区北 9 条西 7 丁目

北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター 安達大輔研究室

〔庶務会計〕〒338-0825 さいたま市桜区下大久保 255

埼玉大学人文社会科学部研究科 野中進研究室

E-mail : yaar@yaar.jpn.org（共通）